

# 石川県鍼灸師会報 '19. 3 第11号

いしかわけんしんきゅうしかいほう 公益社団法人石川県鍼灸師会



写真：「公益社団法人 日本鍼灸師会 全国大会 in 沖縄」  
平成30年10月27日（土）～28日（日）

## 〈 目次 〉

1. 総務部の活動
  2. 学術部の活動
  3. 広報・普及部の活動
  4. 保険部の活動
  5. 組織青年部の活動
  6. その他の活動・報告
- あとがき

# 1. 総務部の活動

## 第 4 回理事会

日 時：平成 31 年 2 月 10 日（日） 10：00～12：00  
場 所：石川県地場産業振興センター 本館 3 階 第 4 研修室  
議事 1. 各部の下半期事業の報告  
議事 2. その他



## 第 5 回理事会

日 時：平成 31 年 3 月 22 日（金） 21：00～  
場 所：（公社）石川県鍼灸師会 東力事務所  
議事 1. 来年度予算（案）について  
議事 2. 来年度事業計画（案）について  
議事 3. 選挙管理委員会設置について  
議事 4. その他



## 2. 学術部の研修会

### 第 14 回 (公社) 日本鍼灸師会 全国大会 in 沖縄

#### 時代を支える鍼灸 ～病に体にそして心に～

日 時：平成30年10月27日(土)～28日(日)

場 所：沖縄県男女共同参画センター ているる

報 告 者：松田 朗

気温 25 度前後と、半袖・半ズボンで十分な暖かさの中、(公社) 日本鍼灸師会全国大会が開催されました。

私は以前から、日本なのに異国のような、独特な沖縄県の風土にとっても魅力を感じておりましたので、とても楽しみにしておりました。

全国大会の参加はもちろんです、首里城や琉球村を見学したりと、沖縄県を満喫させていただきました！

大会に関わられました諸先生方、有難うございました。



ているる 正面玄関



開会式



小川 卓良先生の講演



児山 俊浩先生の講座

## 第2回 療養費適正合同研修会

日 時：平成31年1月20日（日） 13：00～15：00  
 場 所：金沢勤労者プラザ 3階 304・305研修室  
 演 題：婦人科における腰痛症について  
 講 師：金沢大学医薬保険研究域医学系婦人科教室 明星 須晴先生

### 婦人科系における腰痛症について ～コ・メディカルとして知っておくべきこと～

明治鍼灸堂 富田 あゆみ

平成31年1月20日（日）、金沢勤労者プラザにて第2回療養費適正指導合同講習会に併せて学術研修会が開催されました。

講師には、金沢大学医薬保険研究域医学系婦人科教室の明星 須晴先生をお迎えしました。

婦人科系における腰痛症について、「妊婦と腰痛」、「子宮筋腫と腰痛」、「子宮内膜症と腰痛」、「卵巣嚢腫と腰痛」のそれぞれの症例にCT画像と手術の実例を併せてご講義を頂きました。

質疑応答の時には、先生の方から、「逆子」に対する鍼灸治療についての質問があり、お灸治療で効果があることを伝えられました。

そして、これを機に「逆子」の治療が可能である治療院（※両会所属会員・研修会参加等条件を満たしている）の情報を提供する運びになりました。

この研修会においては、婦人科系腰痛症の貴重な実症例を学べたことだけでなく、改めて医療の多職種連携の必要性を感じさせられました。

ご講義下さいました明星 須晴先生、そして研修会を開催された（公社）石川県鍼灸マッサージ師会ならびに（公社）石川県鍼灸師会にお礼を申し上げます。



## アレルギー疾患に対する鍼灸治療

### ～アトピー性皮膚炎、気管支喘息、花粉症～

日 時：平成31年2月10日（日） 13：00～16：00  
場 所：石川県地場産業振興センター 本館3階 第4研修室  
講 師：明治国際医療大学特任教授 江川 雅人先生

うえのはり灸院 上野 晃一

2019年2月10日、石川県地場産業振興センターにて2018年度最後の学術講習会が行われました。

講師を務められたのは明治国際医療大学特任教授の江川 雅人先生です。

最初にアレルギー疾患についての説明を大まかに、それから花粉症・気管支喘息・アトピー性皮膚炎の順でそれぞれの弁証や治療穴について図解等も交えて詳細な講習が行われました。特にアトピー性皮膚炎に対する治療における治療回数の重要性や治効とIgE改善の関連性、その治療機序、そして鍼灸治療での症状改善では症状のリバウンドが少ないことなどのデータや考察は日々臨床を行っているだけではなかなか得られない素晴らしいものでした。

また、生活指導の一環として、かゆみを増す食べ物や、皮膚バリアを強化する食べ物の紹介、実際の臨床では全身の随伴症状も併せて改善することも大切であることも説かれていました。

その後行われた実技見学や質疑応答も含め、明日からの臨床に役立つ様々な教訓を得られたとても意義深い講習会でした。

江川先生にはこの場をお借りして改めて深く感謝いたします。



### 3. 広報・普及部の活動

#### 子育て支援メッセいしかわ2018

日 時：平成30年11月4日（日） 10：00～16：00  
場 所：石川県産業展示館 4号館  
報 告 者：富田 あゆみ

石川県子育て支援メッセ2018が、11月4日（日）の10時～16時にわたって、石川県産業展示館第4号館で開催されました。

例年通り、普及活動の一環として参加し、「親子スキンタッチ健康法」を紹介しました。当会のブースには、222名の親子の方々が参加されました。

スプーンと歯ブラシを使ったスキンタッチ健康法を、親御さんからお子さんに施して頂きました。その際に、お子さんの体の変化（しぐさや機嫌、眉間の青筋、髪の毛が逆立つ、肌の色つやなど）はどのような状態であるかということを見てもらい、子供のちょっとした体の変化は、不調のサインであるということを説明しました。そして、スキンタッチ健康法を施してもらうと、子供が気持ちよさそうにする様子や、髪の毛が逆立っている子は、髪の毛が落ち着いてきて、ぐずっている子は、泣き止んでくる等々、お子さんの体の変化（不調）が良くなることを実体験して頂きました。

参加された親御さん方からは、今後のお子さんの健康管理と健康増進に役立てられるから体験出来て良かったというご意見も頂きました。今後も、スキンタッチ健康法を子育て中の親御さん方に広く知って頂けるように普及に努めたいと思います。



## 4. 保険部の講習会

### 臨時療養費適正指導講習会

日 時：平成30年12月16日（日） 9：30～11：30  
場 所：石川県地場産業振興センター 本館2階 第2会議室



### 保険連絡協議会

日 時：平成31年1月16日（水） 20：30～  
場 所：（公社）石川県鍼灸師会 東力事務所  
出席者：定池、中村（智）【石鍼師会】  
常盤、田中、宮川【石鍼マ師会】

### 第2回 療養費適正合同講習会

日 時：平成31年1月20日（日） 15：15～16：45  
場 所：金沢勤労者プラザ 3階 304・305研修室



## 5. 組織青年部の活動

### もちつき大会

日 時：平成31年2月3日（日） 11：00～15：00

場 所：志賀町 山崎はり・きゅう治療院

報 告 者：松田 朗

今年も、おいしいお餅やカキ貝など、たくさんご馳走になりました(\*^-^\*)  
山崎先生、いつも本当にありがとうございます！



### 北陸ブロック青年部長会議

日 時：平成31年3月10日 11：30～16：00

場 所：金沢市 ホテル マイステイズ 波の花

報 告 者：大内 康弘

定食を頂きながら北陸ブロック最後を語りあかしました。

ブロックが別になりますが、近隣県で足を運びやすいため連絡しあえればと、まだ寒い金沢駅までの道のりが少し暖くなり解散しました。



## 6. その他の活動・報告

### 平成30年度 全国師会長会議

日 時：平成30年11月25日（日） 11：00～16：30  
場 所：呉竹学園代々木校舎  
出席者：定池 寿

日鍼会新報のペーパーレス化、会費の値上げに向けた説明がありました。

### 第1回 災害支援鍼灸マッサージ

#### 合同育成講習会

日 時：平成30年12月9日（日） 10：00～17：00  
場 所：横浜市技能文化会館  
報告者：定池 寿

演 題：「業界の危機管理体制構築経緯と災害支援の現状と実際」  
講 師：（公社）日本鍼灸師会 危機管理委員長 堀口 正剛  
（公社）全日本鍼灸マッサージ師会 災害対策委員長 仲嶋 隆史

日本鍼灸師会・全日本鍼灸マッサージ師会の対応を両社団の講師が説明した。

#### 1. 災害に対する目標

各県師会ごとに危機管理委員会・危機管理対策委員会の設置の必要性・マニュアルの必要性・災害支援鍼灸マッサージ師の育成の必要性・予算化の必要性・都道府県行政の災害協定締結の必要性を具体的に説明があった。

#### 2. 活動の実際

東日本大震災から北海道胆振東部地震までの鍼灸マッサージ師の活動報告が行われました。多職種連携の必要性が確認された。



演 題：「データ管理の必要性」  
講 師：(公社) 日本鍼灸師会 吉野亮子

他職種との連携が必要となっている災害支援に対し、連携を深めるには、災害時に関わらず日常的な健康支援においても積極的に行うべきである。そのために出来ることは、データの可視化である。データそのものを安全に管理する事、検索しやすいように整理すること、履歴や最新データを閲覧出来るようにすることである。チーム内の情報の共有や他職種への連携などがスムーズになる。今回は、熊本の仮設住宅での支援活動についてデータ管理の必要性についての報告があった。

演 題：「災害時のメンタルヘルスの実際」  
講 師：国立病院機構災害医療センター DMA T事務局アドバイザー 河 篤 譲

#### 1. 人道支援

「自然災害などの生命・尊厳・安全を確保するために、援助物資やサービス等を提供する行為の総称」原則は、人道性・独立性・中立性・公平性 (スフィア・プロジェクトを参照) スフィア・プロジェクトで定めている最低基準の中に、メンタルヘルスが記載されている。

#### 2. 災害時のメンタルヘルス

漫画コウノトリにも記載されている事、監修を河篤先生が行った事を説明された。災害後の心理的反応、災害後に生ずるメンタルヘルスの問題、子供によくみられる反応・行動、回復の妨げに繋がる事、特別に配慮が必要な人々、人々の回復を促すためには、等についての具体的説明がなされた。

#### 3. 心理的応急処置・支援者自身のケア

災害時の心理的援助における科学的根拠に基づいた5つの原則、サイコロジカル・ファーストエイド：PFAについて、PFAの行動原則、見る・聴く・つなげるの意味の説明。災害派遣精神医療チーム(DPAT)の説明。支援者自身のケアについて詳細に説明があった。

#### 4. まとめ

##### 1. 人道支援

##### 2. 災害時のメンタルヘルス

- ・直後は、少数の人々への精神科救急医療ニーズ
- ・いわゆる「心のケア」は大多数の人々への中長期的支援

##### 3. 心理的応急処置(PFA)

- ・全ての支援者が用いる相手を「傷つけない」ための関わり方
- ・人々を必要なニーズ、DPAT等の精神医療や各種専門家へのつなぐ  
→地域内での平時からの顔の見える関係づくり＝連携

##### 4. 支援者自身のケア：セルフケアと組織的な対応

演 題：「県庁との災害協定について」  
講 師：(公社) 岡山県鍼灸師会 会長 内田 輝和

岡山県鍼灸師会と岡山県との災害支援協定を平成 30 年 7 月に締結した経緯を詳細に説明があった。また、その次の日におこった豪雨災害の岡山県鍼灸師会の活動報告があった。

演 題：「災害医療対策の歴史と他職種連携の必要性」  
講 師：(一社) 日本災害医学会 代表理事 小井土 雄一

日本の災害医療は、阪神大震災までは整備されていなく、6400 名以上の命が失われたが、その内 500 名が防ぎ得た災害死と報告があった。原因として、災害医療を中心的に担う病院が無かったこと・急性期の医療チームが無かったこと・重症患者の搬送の問題・病院と病院や病院と行政との情報共有が無かったことを教訓に、災害拠点病院の整備・DMAT の創設・広域医療搬送計画の立案・広域災害救急情報システム (EMIS) を整備した。その結果、東日本大震災では、重症外傷患者はほとんどいなかった。その一方で慢性疾患の憎悪、感染症、深部静脈血栓症、生活不活発病の患者が急激に増加した。

新たな課題として厚労省等で検討された結果、医療チームだけで防ぐことは出来ず、多職種連携が重要であると認識された。その教訓を得て国際医療技術財団災害研修を始めた。

熊本地震では多職種連携が避難所等で活動が実施され、災害関連死抑止に貢献できた。

鍼灸師の活動もこの連携の中で行われることにより、避難所生活や車中泊による DVT や生活不活発病、心のケアにおける鍼灸師への期待が大きい。

最後に委員会の報告がなされ、「災害支援鍼灸マッサージ合同委員会」と名称が発表され英語表記を Disaster Support Acupuncture Masseur 略称 DASM と名付けることに決定された。



## 学術講習会 超高齢社会と鍼灸治療について

日 時：平成 31 年 3 月 3 日 13:30～16:30  
場 所：福井県福井市 アオッサ 603 研修室  
講 師：明治鍼灸大学 特任教授 江川 雅人先生  
報 告 者：大内 康弘

先月開催されました石川県でのアレルギー講演を受講し、本日の講習会の案内もありましたので引き続き参加させていただきました。

鍼灸院での高齢者のフレイル状況についてのお話や、実技では握力測定の意義が私としては気になったところ、前青年部長の久保先生が質問し、江川先生の丁寧な説明をして頂き必要性を感じました。



### 石鍼会、ペーパーレス化へ

石鍼会は、今後、ペーパーレス化をめざし、メーリングリストを作成いたします。詳細につきましては、総会の折に説明致しますので、会員の皆様のご協力をお願い致します。

### (公社) 日本鍼灸師会 移転しました

(公社) 日本鍼灸師会が、昨年 10 月より下記に移転しました。

- ・ 住 所：〒170-0001 東京都豊島区西巣鴨 2-1-19 双葉ビル 2 階
- ・ 電 話：03 (5944) 5089
- ・ F A X：03 (5944) 5087
- ・ ホームページ：http://www.harikyu.or.jp/
- ・ 電 子 メール：info@harikyu.or.jp

### 「朝日新聞マイベストプロ東京」

以前、当会の学術研修会に講師としてお迎えした清野 充典先生が鍼灸についてのコラムを掲載されていますので、下記にアクセスして読んでみて下さい。

<https://mbp-japan.com/tokyo/seino-1987/column/>

## あとがき

昨年から今年にかけて、鍼灸業界にとって大きな動きがありました。それは、世界保健機関（WHO）で国際疾病分類（ICD-11）への記載とそのフィールドテスト、療養費受領委任制度のスタートでした。また、そのためかどうかは解りませんが、マスメディアでは、東洋医学・鍼灸や漢方薬を取り上げる機会が多くなりました。こうした動きがある現在、これからの日本の社会や医療事情において、我々鍼灸師のひとり一人が、自分たちの立ち位置を確認しながら、医療連携を心掛ける努力が益々大切であるように思いました。

石鍼会報 11 号は、平成最後の会報になりました。5 月をもって新元号に改元されて、新しい時代に変わります。当会においても、新たに理事の改選があります。会員の皆様方のご意見、ご協力をお願いします。

会報作成にあたり、原稿依頼に快く応じてくださいました会員の方々にお礼を申し上げます。会報に対するご意見、ご感想などございましたら広報部までお寄せください。今後とも広報活動に対するご理解とご協力をよろしくお願い申し上げます。



編集部長より

発行 公益社団法人 石川県鍼灸師会

会長 定池 寿

〒921-8016 石川県金沢市東力町二 177 STビル 203

TEL 076-259-0750

FAX 076-259-0751

担当 広報普及部

編集部長

編集委員

富田 あゆみ

定池 寿

中村 智彦

大内 康弘

• 金谷 由久

• 上野 晃一

• 松田 朗

